医学研究科

医学専攻（博士）

ディプロマ・ポリシー

1.国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを充分に理解し、医学研究者・教育者あるいは高度専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有している。
2.医学分野において明確に目的意識を持ち、医学研究者・教育者あるいは高度専門職業人としての使命感・倫理観などのプロフェッショナリズムを備え、国際的なレベルの医学研究を実践できる。
3.専門分野における幅広い知識、技能と判断力を修得し、専門医療人としての論理的思考や深い学識を養い、卓越した教育、研究あるいは臨床能力を十分に発揮できる。
4.専門医療人としての自立性を確立でき、医学研究の国際化に対応した卓越した医学能力とコミュニケーション能力・マネジメント能力及びリーダーシップを持ち、国内外の医学研究機関等で活躍できる能力を有する。
5.広い教養と寛容な精神を兼ね備えた上で医学研究または高度専門職に必要なサイエンスとアートを修得し、科学的思考力を基に質の高い医学研究または患者診療を遂行できる。さらに専門医学分野に関する学問的創造性に貢献できる能力の涵養と指導的な役割を発揮できる。
6.修士および博士課程の修了要件として、①大学院学則に定める修業年限以上在学し、②授業科目について所定の単位以上を習得し、③必要な研究指導を受けた上で、修士課程においては修士論文の作成を行い、修士論文審査および所定の試験に合格した者、博士課程においては博士学位論文の作成を行い、博士学位論文審査および所定の試験に合格した者を修了とする。

【注意】
・科目名は分野・領域ごとに異なる
・修了要件は各分野・領域ごとに異なる

			共通科目	専門科目		
				講義科目	演習・実習科目	研究指導科目
			医療福祉に関する高度な学術知識を身に着ける	自らの専門分野における研究の基礎となる知識を修得する	医療福祉の高度専門職としてのスキルを修得する	学位に相応しい研究を遂行し、成果をまとめる
1年次	前期	・リサーチクエスチョンに基づく先行研究の調査 ・研究計画の立案 ・データの収集および分析	・研究倫理特論 ・医学研究特論 （学術論文収集・作成法Ⅰ） （学術論文収集・作成法Ⅱ） （生物統計演習Ⅰ） （生物統計演習Ⅱ） （研究発表技法Ⅰ） （研究発表技法Ⅱ） （研究語学演習Ⅰ） （研究語学演習Ⅱ） （医学研究概論） ・博士課程のための研究法入門 ・統計学 ・統計学入門 ・医学データ解析入門 ・症例に基づく病理学 ・教育学概論Ⅰ・Ⅱ ・英語論文執筆特論 など	講義 生物統計学概論 疫学概論 社会行動科学概論 環境・産業保健学概論 医療情報システム概論 医療経済学概論 など	生理学特論Ⅰ 免疫学特論Ⅰ 法医学特論Ⅰ 感染症学特論Ⅰ 呼吸器内科学特論Ⅰ 循環器内科学特論Ⅰ など	医学特別研究Ⅰ リサーチクエスチョンに基づく先行研究の調査 研究計画の立案 データの収集および分析
	後期	・データの収集および分析、または研究計画の評価・再立案				
		D1研究報告会				
2年次	前期	・データの収集および分析、または研究計画の評価・再立案		講義 生物統計学概論 疫学概論 社会行動科学概論 環境・産業保健学概論 医療情報システム概論 医療経済学概論 など	生理学特論Ⅱ 免疫学特論Ⅱ 法医学特論Ⅱ 感染症学特論Ⅱ 呼吸器内科学特論Ⅱ 循環器内科学特論Ⅱ など	医学特別研究Ⅱ データの収集および分析 または 研究計画の評価・再立案
	後期					
		D2研究報告会				
3年次	前期	・データの収集および分析、または研究計画の評価・再立案 ・研究成果のまとめ、および成果発信計画の立案		講義 生物統計学概論 疫学概論 社会行動科学概論 環境・産業保健学概論 医療情報システム概論 医療経済学概論 など	生理学特論Ⅲ 免疫学特論Ⅲ 法医学特論Ⅲ 感染症学特論Ⅲ 呼吸器内科学特論Ⅲ 循環器内科学特論Ⅲ など	医学特別研究Ⅲ データの収集および分析 または研究計画の評価・再立案 研究成果のまとめ、およ
	後期					
		D3研究報告会				
4年次	前期	・研究成果の発信 ・学位論文の作成		講義 生物統計学概論 疫学概論 社会行動科学概論 環境・産業保健学概論 医療情報システム概論 医療経済学概論 など	生理学特論Ⅳ 免疫学特論Ⅳ 法医学特論Ⅳ 感染症学特論Ⅳ 呼吸器内科学特論Ⅳ 循環器内科学特論Ⅳ など	医学特別研究Ⅳ 研究成果の発信 学位論文の作成
	後期					
		研究発表会				
		学位論文審査				

博士学位論文

学位取得